令和６年度　松田町立寄幼稚園　園だより　第９号

みやまの風

令和６年12月２日（月）発行　園長　律田　将美

寄幼稚園のカウンタセスが、**600を越え**ました。皆様のご協力ご感謝にす。

寄　松田

カラー版はＨＰで…幼稚園ＨＰのＱＲコードです↑

見守る姿勢

「すぐに手を出さずに、離れて見守りながら支援を考えていきます。」

毎朝行われているその日の保育・支援の確認の時間に、このような言葉をよく聞きます。園ではそういう姿勢が徹底され、子どもたちの様子を丁寧に観察しながら、一人ひとりに寄り添った支援が行われています。

１１月１２日には、「親子交通安全教室」が行われました。警察署から２名、みやま防犯パトルール隊から５名の方がご指導に来てくださり、保護者や職員も含めてたくさんの大人が６名の園児をやさしく見守りました。

寄駐在の中山さんより、安全な歩き方のご指導を受けた後、いよいよ外回りの実地訓練です。子どもたちは、保護者の方に付き添われながら、緊張した面持ちでスタートしていきました。

発達段階に応じて、保護者の方にも「見守る姿勢」をお願いしていました。状況に応じたご支援、本当にありがとうございました。

見守り、寄り添って考え、本当に必要な支援、子どもたちを育てるための支援を園では日々、丁寧に検討しながら保育を行っていきます。そして成長したこと、がんばったことを認め、共に喜びます。

この日のご褒美は、職員手づくりのメダルでした。丁寧にデコレーションされ、一人ひとりの顔写真の入った素敵なプレゼントです。

「戻ってきたら、園長先生がかけてあげてください。」

「えっ、いいの？」

園長は、いつもいいとこ取りです。子どもたちのがんばりに思いを馳せ、素敵なプレゼントを眺めながら帰りを待ちました。

戻ってきた子どもたちに勇んでプレゼントを渡そうとすると、リボンが短く頭にかけることになりました…。それでも子どもたちは誇らしげで、にこにこしながら心のこもった職員の想いを受けとめてくれました。

１１月２２日には、中井中央公園に園外保育に行きました。たくさんの遊具があり、子どもたちは職員に見守られながら、初めての遊具に挑戦していました。年長さんの見本を見たり、仲間と声を掛け合ったり、できたことを喜び合ったり…。ここでも教師はなるべく手を出さずに、寄り添った支援を行っていました。

「できたよ！！見て！！！」

励まし合い成し遂げた経験は力となり、何よりも一人ひとりの笑顔をキラキラと輝かせていました。